

「リカレント教育プラットフォームみえ」について

県内全高等教育機関（14機関）で構成する高等教育コンソーシアムみえ（以下「コンソみえ」と言います。）は、平成28年の設立以来、オール三重体制で三重県の新時代を切り開く人材「三重創生ファンタジスタ」の育成、学生の地域貢献活動の支援、FD/SD連携、単位互換等を行っています。

令和5年度より、コンソみえを核として産学官金が連携してプラットフォームを形成し、大学等と社会との接続をより深化させ、三重県におけるリカレント教育を推進し、地域ニーズに応える人材の継続的な輩出に取り組んでいきます。

課題

✓ 中小企業等の「ものづくり産業」の持続的な成長

県内企業の99.8%を占め地域をけん引する中小企業・小規模企業の「ものづくり産業」を、スマート化等によってSociety5.0等の社会経済情勢の大きな変化に適応させていくことが必要。

✓ 無理なく学べる環境の構築

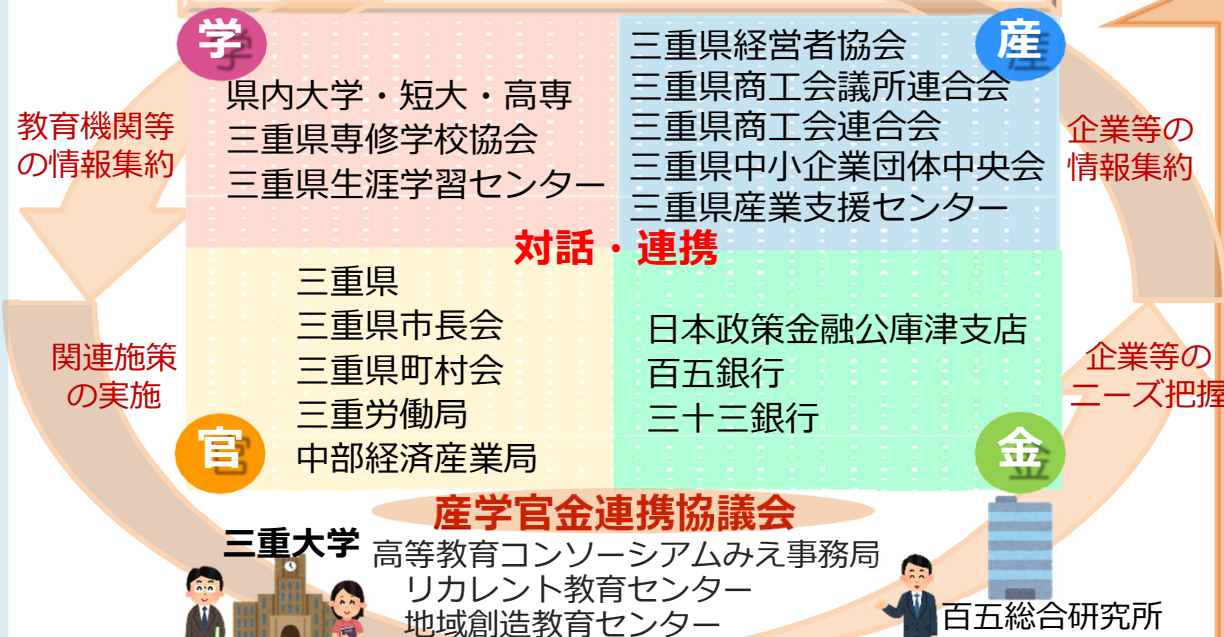
人口減少や若者の県外流出によって産業の担い手が減少していく中、企業等の現場では人材育成のための時間や余裕がない。

プラットフォームの取組

- ① 企業等への悉皆的アンケートと個別ヒアリングで人材ニーズを調査・把握
- ② コンソみえを核とした加盟機関調査での教育コンテンツ集約とポータルサイトでの情報共有
- ③ 地域シンクタンク・金融機関と連携した人材ニーズと教育コンテンツのプッシュ型マッチング
- ④ リカレント教育の好事例やロールモデルをセミナー・シンポジウム等で広報・周知

【複数コーディネーター連携】

リカレント教育プラットフォームみえ(仮称)



地域ニーズに応える人材の継続的な輩出

- プラットフォームの組成による課題と「相談相手」の顕在化
- リカレント教育と生涯学習の接続による「学び直し」の機運醸成
- 社会との接続による学生・社会人の「学びの意義」の再定義

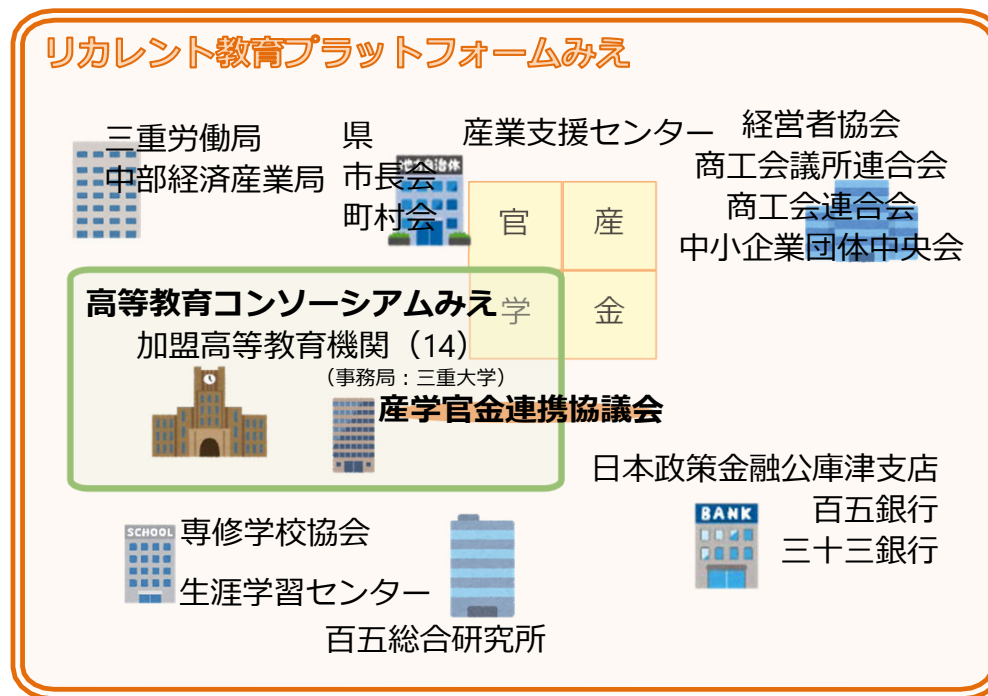
取組の継続による土壌の形成

- コーディネーター① (特任教員) コーディネーター③ (博士課程学生等) コーディネーター② (シンクタンク研究員)

プラットフォーム構築イメージ

◎ 「リカレント教育プラットフォームみえ」の運営について

プラットフォームは、コンソみえ (<https://conso-mie.jp/>) を核として産官金の関連機関を構成員に加えて形成(30機関)し、コンソみえに置かれた「産学官金連携協議会」により運営を行います。

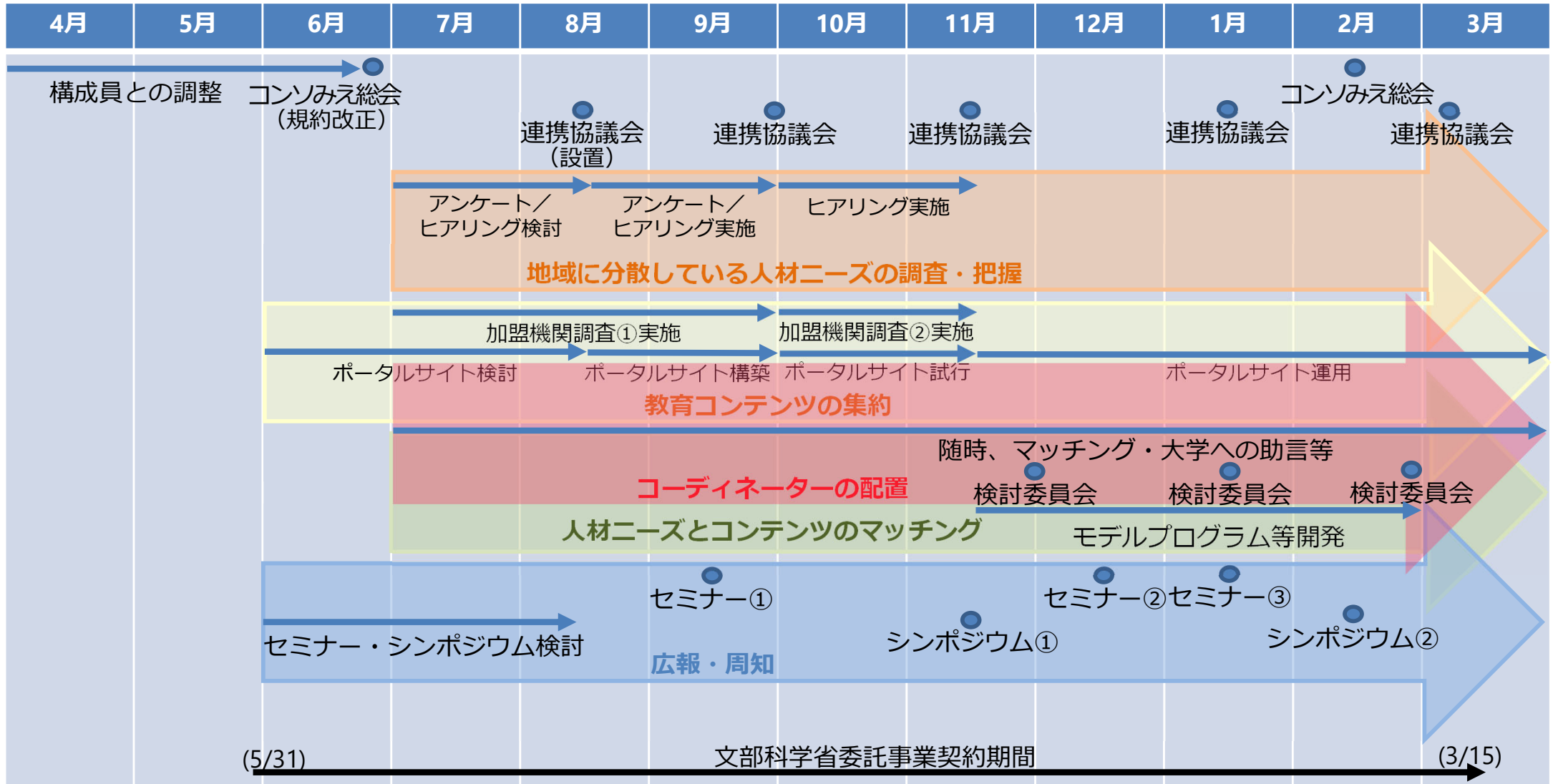


県内高等教育機関は、リカレント教育等が今後重要な分野であるという課題意識はあるものの、企業等のニーズが不明であることや、余力がないことから、二の足を踏んでいる状況が見て取れます。三重県の高等教育機関は、その公共的・社会的責任から、学外向けの教育プログラムに取り組んできた長い実績を有しますが、現代的な文脈でのリカレント教育は緒に就いたばかりと言えます。

本プラットフォームの構築により、構成員が相互に協力して取組を継続していくことで、自らの課題と「相談相手」が顕在化し、リカレント教育と生涯学習の接続による、総体としての「学び直し」の機運が醸成され、社会との接続による学生・社会人の「学びの意義」の絶えざる再定義が行われ、地域ニーズに応える人材を継続的に輩出する土壌が形成されます。それが「三重型リカレント教育の推進」になるものと考えます。

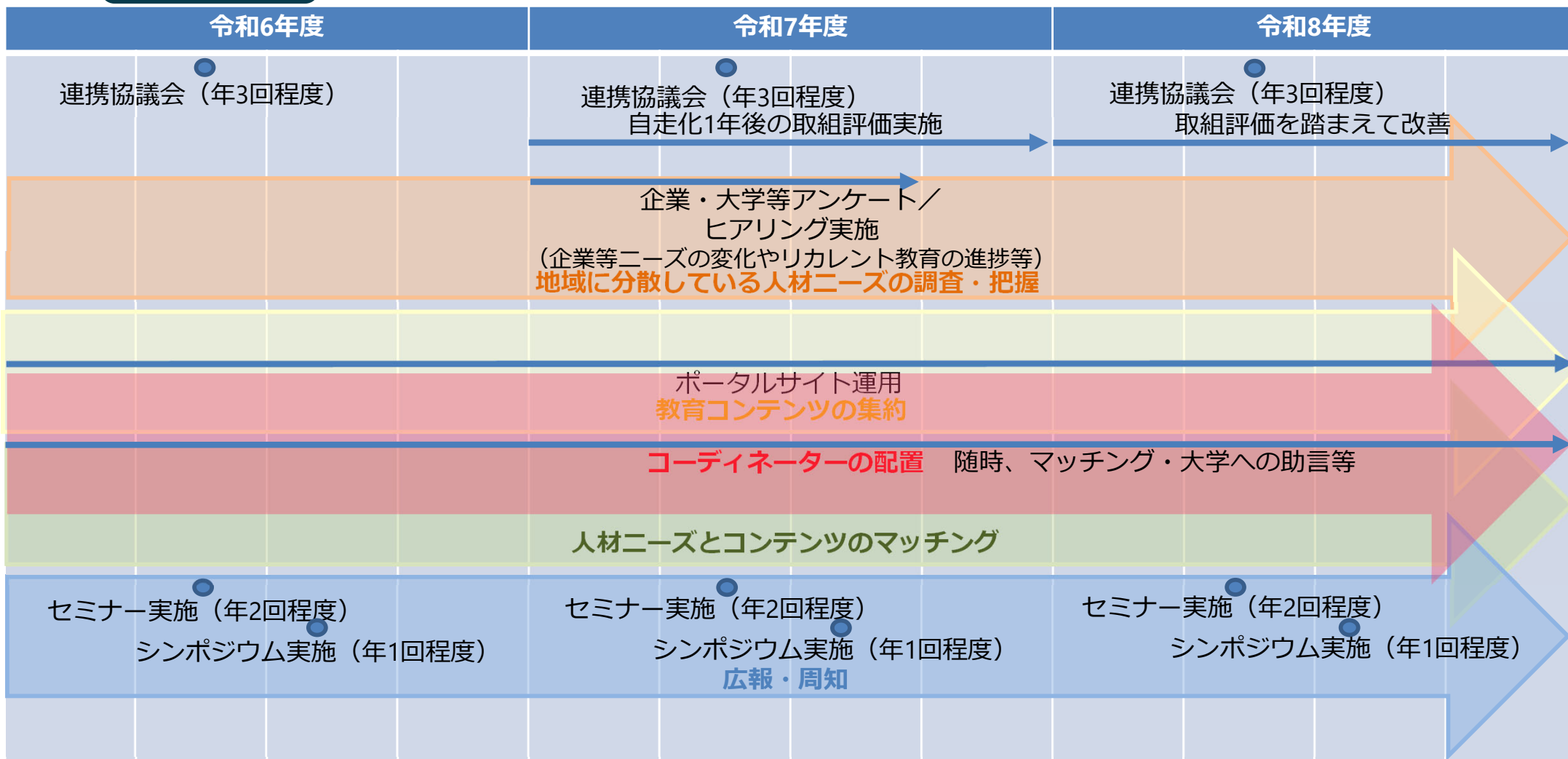
取組計画

令和5年度



※令和5年9月時点の計画であり、変更となる可能性があります。

令和6年度以降



問合せ先

三重大学学務部教務チーム

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

T E L : 059-231-9982 (内線 : 9982)

E-mail : kyomu-k@ab.mie-u.ac.jp